

記者発表資料

「R2国道50号米沢高架橋耐震補強他工事」において、「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」等を採用します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R2国道50号米沢高架橋耐震補強他工事」について、別紙のとおり不調・不落対策を採用します。

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

③「余裕期間制度（フレックス）」

受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定する制度です。

発表記者クラブ

茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所
電話 029-240-4061 FAX 029-240-4081
副所長（道路） 高橋 哲
道路管理第二課長 平林 久弥

■ R2国道50号米沢高架橋耐震補強他工事

《工事概要》

- (1) 工事名：R2国道50号米沢高架橋耐震補強他工事
- (2) 工事場所：自) 茨城県水戸市笠原町地先 至) 茨城県水戸市元吉田町地先
- (3) 全体工期：契約の翌日から令和3年12月28日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：維持修繕工事
- (6) 工事内容：作業土工1式、橋脚巻立工6基、排水管補修2箇所、補強杭工46本

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）》

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《難工事指定》

本工事は、橋梁下での工事で作業スペースに制約があることにより作業用道路・ヤードの確保が難しく、作業箇所が狭小であり安全対策が必要であるため、「難工事指定」を採用します。

「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《余裕期間制度（フレックス）》

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制の確保を図るため、事前に建設資材、労働者確保等の準備を行うことができる余裕期間を設定した工事であり、令和3年12月28日までの間で、受注者は工事の始期及び終期を任意に設定することができます。

なお、工事の始期までの余裕期間内は、監理技術者等の配置が不要となります。

《スケジュール》

- | | |
|------------------|--------------|
| ○入札公告、入札説明書 交付 | 令和3年2月10日（水） |
| ○技術資料等 提出期限 | 令和3年2月18日（木） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | 令和3年3月11日（木） |
| ○開札日 | 令和3年3月15日（月） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ 指名競争・総合評価落札方式
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

